

令和3年度 自己評価結果公表シート

茨木みのり幼稚園

スローガン

- ・ みんなであそぼう！おおきくなろう！
遊べる子どもになろう
豊かな体験
生きる喜びを

1. 教育理念

- ・ 人と人とかかわって豊かな遊びが発展していく環境を作る。
- ・ 子供の主体性や感性、知性そして人間性を育む教育の実践

2. 教育目標

- ・ ひとりひとりの個性を大切にしながら、明るく生き生きとした子どもの育成に努めます。
- ・ 基本的な生活習慣、態度を育て健康で丈夫な身体をつくります。
- ・ 自分で考えて行動できる力を養います。
- ・ 人との関わりの中で社会性、協調性を養います。
- ・ さまざまな体験を通して豊かな感性、創造性を育てます。

3. 教育方針

- ・ 子どもにとって良い環境を整え、明るく伸び伸びとした集団生活を営ませます。
- ・ ひとりひとりの子どもの発達段階に応じた保育を行います。
- ・ 様々な人や物も出来事と出会い、興味や関心を大切に、意欲や思いやりのある子どもを育てます。

4. 本年度、重点的に取り組む目標や計画

- ・ 10の姿をより深く学びあう
- ・ 新たな生活様式での保育の見直し
- ・ 安全・設備を整える。

5. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
10の姿をより深く 学びあう	<ul style="list-style-type: none">・ 職員室に表示しており、どこからでも見える状況にしている。・ 研究保育の際指導案に記載した保育者がおり、そこから10の姿との関連を意識し、深める。
新たな生活様式での 保育の見直し	<p>◎スキンシップ、人との接触を極力減らす</p> <ul style="list-style-type: none">・ 運動会での組体操は行わず、組まないでできる形を考える。・ 全園児での集まりは行わず、学年ごとに分けての活動。 時間や日にちを分ける。・ おみせやさんごっこの品物やお金をすべてビニールコーティングし、消毒できるようにする。・ 誕生児と誕生児の保護者のみでの誕生会・ すべての行事において時間短縮できるように工夫する。・ 室内のおもちゃは洗える、消毒できるもの。・ 室内の密を避け、外遊びを充実させる。・ 変更したことは計画書、打合せ、記録を取るようにしたが、職員体制が新しいこともあり、コミュニケーションがうまく取れていなかった。

安全・設備	<ul style="list-style-type: none"> ◎衛生管理を習慣づける。 <ul style="list-style-type: none"> ・門での体温チェック、体温チェック表への記録 ・クレベリンを各部屋に設置 ◎熱中症対策を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・園庭にテントを常時設営し日陰を作り、色水や泡遊びを行う。 ・水遊びの着替えの際の人目を遮る。 ◎子どもたちが安全に過ごせるように園庭、園内の整備をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・不審者の侵入を防ぐ為、男性園務員により周囲の見回りを強化。 ・遊具、園庭、園舎内の安全点検を学期ごとに行う。 令和4年4月遊具を入れ替える予定。 ・防災、防犯訓練を実施。今年度は全園児での避難訓練が実施できたが保護者参加の引き渡し訓練はできなかった。
-------	--

6. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> ・イラスト化した10の姿は保育者間では共有したが、活用できず深い学には繋がらなかった。 ・コロナ対策は積極的に行い、習慣づけることができた。 ・今までの生活の流れ、取り組みを基に、新たな取り組みを考え進める。 ・外遊びをたくさん取り入れ、クラスだけでなく横のつながり意識が深まった。 ・保護者の参観が思うようにできず、園内の情報発信が不足していた。コロナ禍で園舎内への保護者の出入りを制限していたこと、コロナ禍での発信方法を検討した際、動画や、写真を検討したがWeb上に載せないで欲しいと要望もあり、個人情報やセキュリティーのことはよく考えなければいけない。

7. 今後取り組むべき課題

課 題	具 体 的 な 取 組 方 法
10の姿をより深く学びあう	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念、教育目標、教育方針を理解し、10の姿と関連付けた子どもの育ちを考える。
遊びの環境	<ul style="list-style-type: none"> ・季節を意識し、子どもが自ら遊びたくなる環境構成を工夫する。
異年齢・同年齢交流	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな生活様式での人とのつながりを考える
ICT化	<ul style="list-style-type: none"> ◎保育者1人1台タブレットを導入。 <ul style="list-style-type: none"> ・システムを理解し、業務の効率化を考える。 ・保育に活用する。 ・保護者への発信のツールとして考える。

8. 学校関係者評価委員会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・10の姿に通ずるスローガンのようなものがあればわかりやすい。目標が明確になれば受け止めやすい。小学校にも通ずる。 ・バス無しは子どもとの会話が、社会生活、自然への興味、10の姿につながる。 ・参観、懇談は園を知る機会、伝えたいことも伝えられる機会なので実施できたらよい。
--

9. 財務状況

公認会計士監査により、適正な運営がされていると認められている。
